

都市構造可視化の活用

～立地適正化計画の検討～



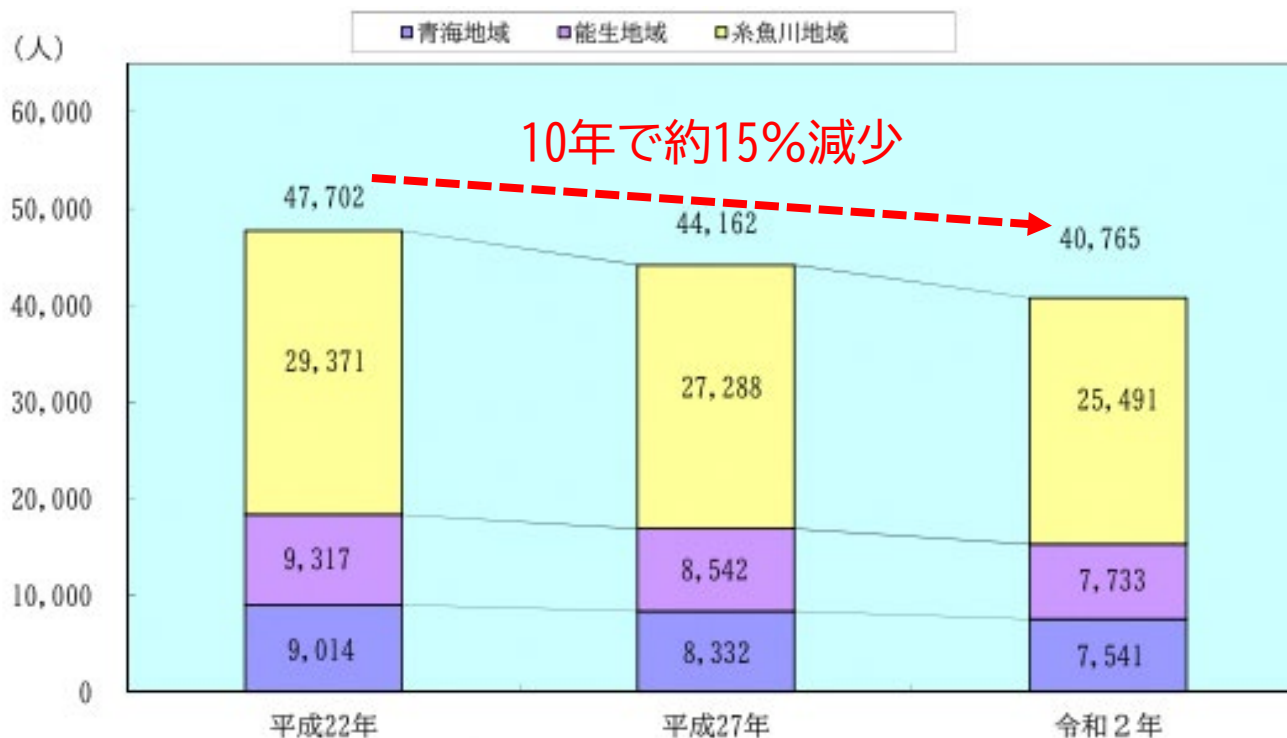
H28. 12糸魚川市駅北大火から復旧した
都市機能誘導区域内にある糸魚川市駅北地区の上空写真

糸魚川市 産業部 都市政策課

1.市の状況

糸魚川市の人口推移

糸魚川市の人口推移

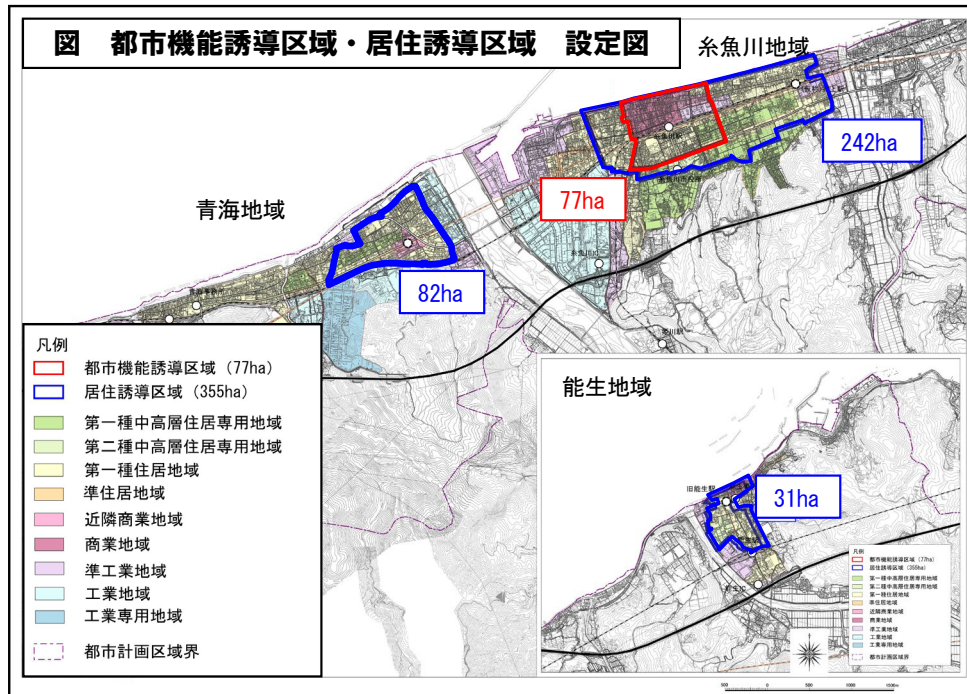


(資料数値: 国勢調査)

市全体の人口減少が進んでいる

2.都市構造可視化により行うこと

立地適正化計画における状況

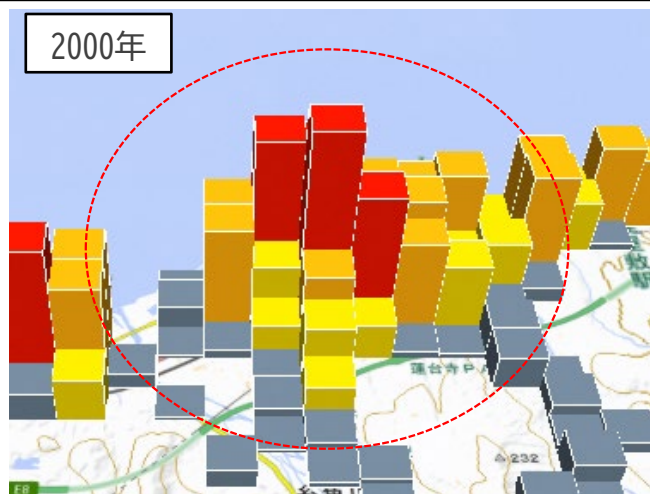


(資料:糸魚川市立地適正化計画)

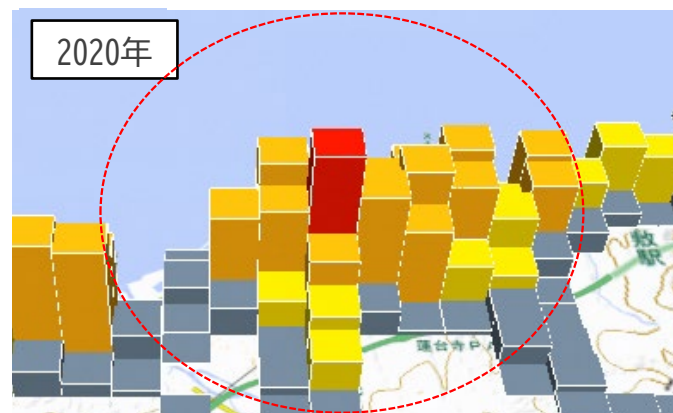
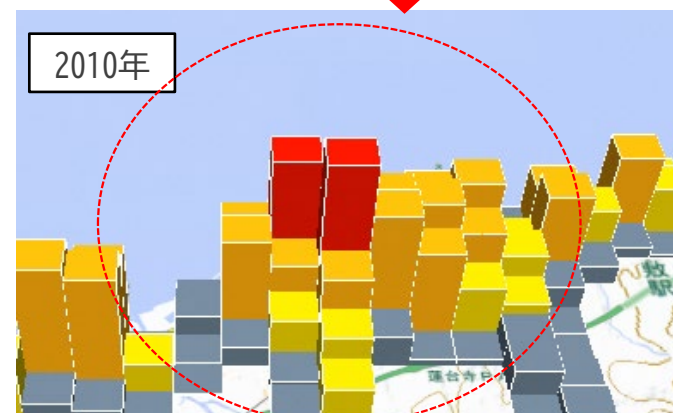
市の立地適正化計画では、都市機能誘導区域1箇所と居住誘導区域3箇所を設定。市全体の人口減少が進むなかで数十年先を見据えた区域設定が必要となり、計画評価の実施段階において、適宜、区域内の人口動態の把握をするための基礎資料とする。

3. 誘導区域周辺の人口推移の可視化

糸魚川地域



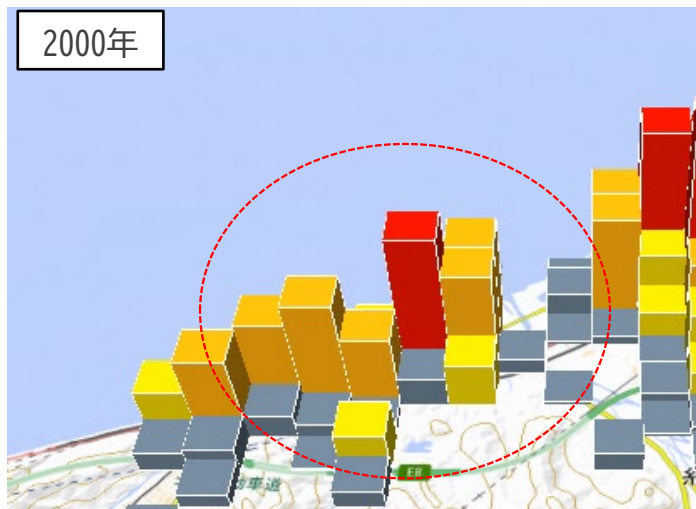
【全図】



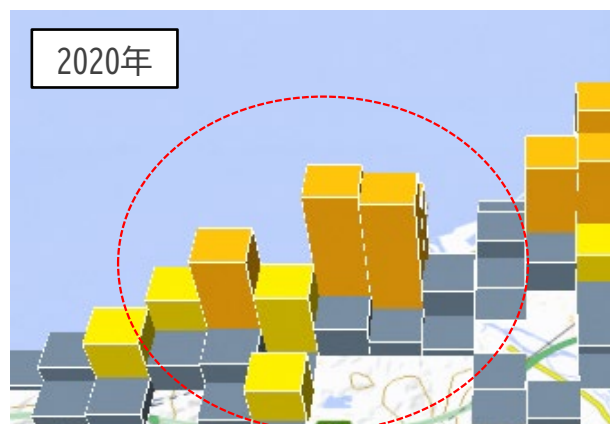
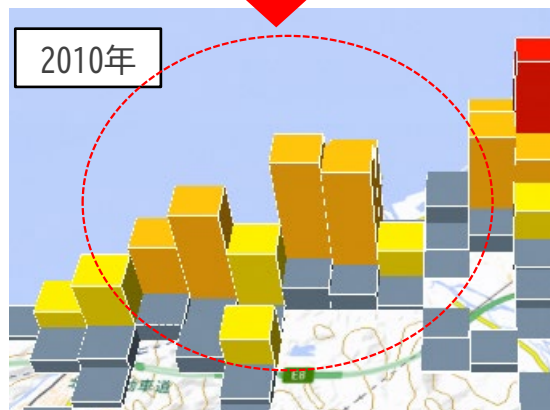
糸魚川地域は、中心地は減少しつつも、その周辺地域は一定人口を維持

3. 誘導区域周辺の人口推移の可視化

青海地域



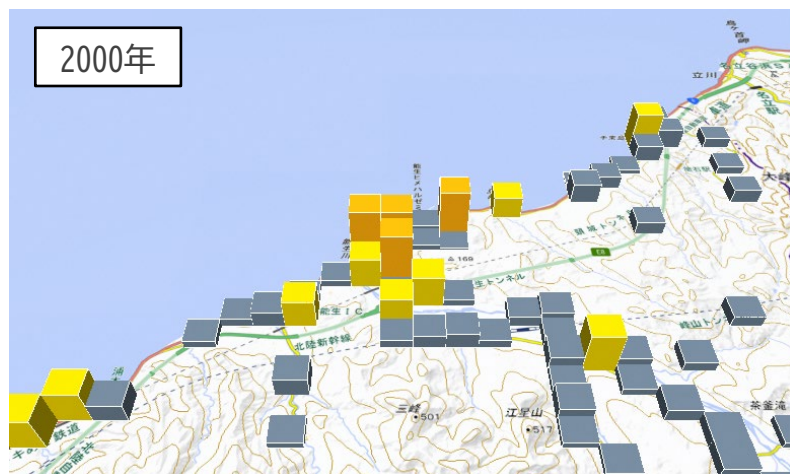
【全図】



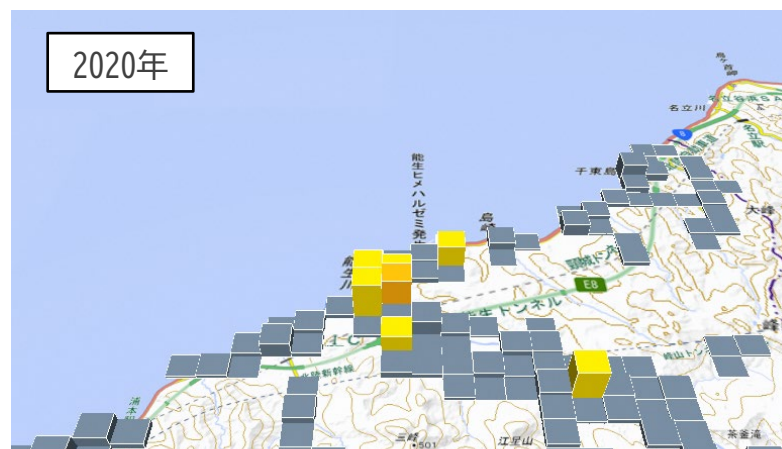
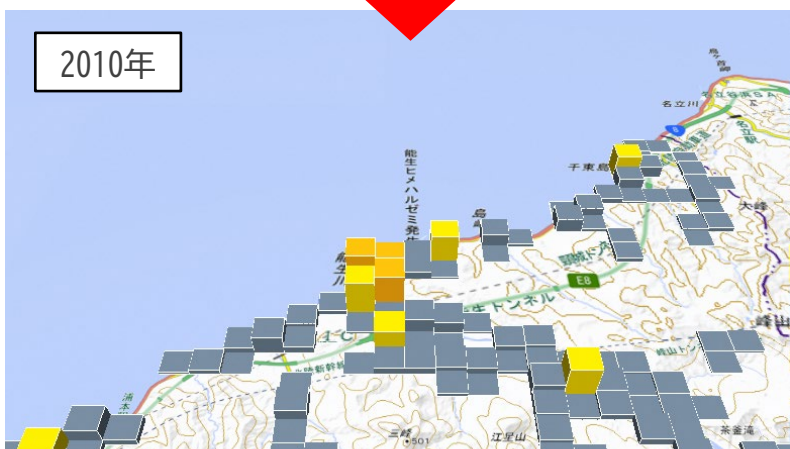
青海地域は、全体的に減少しつつも、中心となる地区の減少は少ない。

3.誘導区域周辺の人口推移の可視化

能生地域



【全図】



能生地域は、全体的な現象がみられるものの、中心地とその周辺一部の人口は一定数残存

4.まとめ

人口の可視化によって、周辺地域含めた人口推移を確認することができた。

立地適正化計画においては、都市機能及び居住誘導の検討に際して、今回の人口推移以外にも様々な分析を行っている。

人口推移の分析を基本としながらも、他の要因も可視化していくことによって、様々な視点での検討ができることから、今後も可視化ツールの使用を検討したい。

- ・土地利用の状況
- ・空き家の状況
- ・開発動向
- ・公共交通の状況
- ・経済活動の状況
- ・災害の危険性
- ・公共施設等の分布



◆市の紹介

地勢 新潟県に西側に位置
富山県・長野県に隣接
北側は日本海
南側は国立公園等あり

面積 746.24km² (新潟県12,580km²)

人口 (2023(R5)年4月1日住民基本台帳)
39,377人 (男性19,274人、女性20,103人)
17,128世帯 高齢化率40.9%

産業別 就労状況

- ① 製造業 21.22%
- ② 建設業 14.03%
- ③ 医療、福祉 13.02%

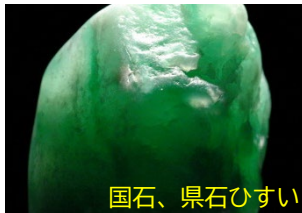
セメントなどを製造する窯業（ようぎょう）が盛ん



雄大な自然景観



日本海に沈む夕日



国石、県石ひすい



特産物の地域産業化